

【様式6】

建物被災状況チェックシート（表面）

チェックを行う前に必ず読んでください。

- ・避難所を開設するにあたって、避難所となる施設の安全性を確認します。
- ・村の避難所担当職員、施設管理者、避難所運営委員会員のうち、2人以上で危険箇所注意到注意しながら、このチェックシートを使って、目視による点検を行います。
- ・一見して危険と判断できる場合は災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。
- ・質問1から順番に点検を行います。
- ・質問1～8（外部の状況）までで、B又はCと判断された場合は、建物に入らず、質問9以降については調査する必要はありません。
- ・危険と認められる場所には、貼り紙をするなどして、立入禁止とします。
- ・このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、災害対策本部へ連絡して確認を受けましょう。
- ・質問1～13を集計し、下記「チェック結果」に該当項目の合計数を記入します。
- ・以下の判定により、必要な対応をとります。

	判定	対応
Cが一つでもある	危険	施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討する。
Cはないが、Bが一つでもある、又は14の記入内容に気になる点がある	要注意	施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じる。
Aのみである	使用可	危険箇所に注意し、施設を使用する。

- ・余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検する
- ・このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであり、災害対策本部に連絡し、早急に調査・確認を受けること。

チェック結果

避難所名	確認日時	確認者名
Aの数	Bの数	Cの数

建物被災状況チェックシート（裏面）

《その1：外部の状況》

質問		該当項目		
		A	B	C
1	建物周囲に、地すべり、がけくずれ、地割れ、砂の吹き出し、液状化現象、地盤沈下などが生じましたか	いいえ	生じた	ひどく生じた
2	建物の基礎が壊れましたか	いいえ	壊れたところがある	ひどく壊れた
3	建物が傾きましたか	いいえ	傾いている気がする	明らかに傾いている
4	外壁材は壊れましたか	B・C以外	大きな亀裂がある・一部落下している	大きく壊れている・落下している
5	屋根材は壊れましたか	いいえ	壊れている・一部落下している	大きく壊れている
6	窓ガラスは割れましたか	いいえ又は現場でふさげる程度	現場で対応できないほど割れた	
7	外部階段、バルコニー、高架水槽、大型看板、隣接する建物等が余震などにより避難所の建物や敷地内に落下、転倒する危険性がありますか	いいえ	可能性はある	今にも落下、転倒しそうだ
8	ガス臭・灯油等の臭い（ガス漏れ・灯油等の漏れの可能性）はありますか	いいえ	ややある	かなりある・漏れている

ここまでのチェックで、B又はCの該当項目があった場合は、建物内に入ってチェックする必要はありません。（質問9以降は点検不要です）

その他、気がついた状況等があれば、質問14の回答欄に記入してください。

《その2：内部の状況》

質問		該当項目		
		A	B	C
9	床が壊れましたか	B・C以外	少し傾いた、又は沈下した	大きく傾いた
10	柱が折れましたか	B・C以外	大きなひび・ゆがみを生じたものがある	完全に折れたものがある
11	内部の壁が壊れましたか	B・C以外	おおきなひび割れがある・一部落下している	大きく壊れている・落下している
12	出入口・各室のドアは動きますか	C以外		かなり動きにくい・動かない
13	天井や高所の照明器具が壊れましたか	B・C以外	落下の危険性がある	落下している
14	その他、気がついた状況を記入してください （例：塀が壊れた、水・ガス・灯油等が漏れている、付近の電線が切れて垂れ下がっている、家具が倒れたなど）			